

令和6年度(2024年度)つくば市役所温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量等実績(対象:つくば市庁舎及び出先機関)

項目		2013年度 (基準年度) 実績値	2023年度 実績値 (*は、調整後)	2024年度 実績値 (*は、調整後)	基準年度 からの増減 (調整前)	基準年度比 (%)	前年度比 (%)	増減の主な要因
温室効果ガス総排出量 (t-CO2)		51,566	50,159 *47,829	54,997	3,431	6.7%	9.6%	・つくば市役所における温室効果ガス総排出量は、前年度から4,838t-CO2増加し、基準年度からも3,431t-CO2増加となった。 ・運輸部門を除き、施設の増加に伴い、エネルギーの使用量が増加したことに加え、電力の使用に伴うCO2排出量が、基礎排出係数の算定方法の変更の影響を受けて増加したことが主な要因である。 ・また、前年度と比べて一般廃棄物の総量自体はほぼ横ばいであったものの、プラスチック比率は増加し、水分比率は減少したため、推計上、プラスチック焼却量が増加したことが、その他ガス部門におけるCO2排出量増加の主な要因である。
部 門 別	運輸部門	739	655	635	△ 104	-14.0%	-3.0%	
	業務その他部門	19,916	17,914 *15,584	20,890	974	4.9%	16.6%	
	その他ガス	30,905	31,584	33,466	2,561	8.3%	6.0%	
	HFC等4ガス(フロン類)	7	6	6	△ 1	-13.4%	0.7%	
電力購入量(kWh)		33,307,086	36,298,501	36,788,423	3,481,337	10.5%	1.3%	・電力の購入量は、前年度から489,922kWh増加した。市民プールや新設校等、電力使用量の大きい施設が増えたことが主な要因である。
ガソリン購入量(L)		216,745	200,874	199,380	△ 17,365	-8.0%	-0.7%	・ガソリンの購入量は、前年度から1,494L減少した。ガソリン車全体の走行距離が前年度から約20,000km減少したことが要因である。
軽油購入量(L)		89,696	73,148	66,905	△ 22,791	-25.4%	-8.5%	・軽油の購入量は、前年度から6,243L減少した。公立保育所等でバスを使用しなくなったことが、主な要因である。
A重油購入量(L)		162,800	56,540	62,430	△ 100,370	-61.7%	10.4%	・A重油の購入量は、前年度から5,890L増加した。A重油を使用している給食センターでの使用が前年よりも多かったほか、改修工事のため、前年度の稼働が少なかった施設が、今年度は年間を通して稼働し、使用量が増えたことが主な要因である。
灯油購入量(L)		520,477	317,368	457,556	△ 62,921	-12.1%	44.2%	・灯油の購入量は、前年度から140,188L増加した。県から移管された施設で灯油を多く使用していること(170,324L)が主な要因である。
都市ガス使用量(m³)		572,328	1,233,662	1,438,053	865,725	151.3%	16.6%	・都市ガスの使用量は、前年度から204,391m³増加した。特に、令和6年度にオープンした市民プールで多く使用している(153,789m³)ことが主な要因である。
プロパンガス使用量(kg)		46,957	34,915	38,824	△ 8,134	-17.3%	11.2%	・プロパンガス使用量は、前年度から3,909kg増加した。県から移管された施設でプロパンガスを多く使用している(4,845kg)ことが主な要因である。
熱使用量(MJ)		6,895,973	6,704,624	7,086,246	190,273	2.8%	5.7%	・熱使用量は、前年度から381,622MJ増加した。地域冷暖房を使用している全ての施設で使用量が増加し、特に昨年2月にオープンした市民活動拠点の使用量が、通年の稼働により、大きく増加した。

※ 2024年度実績値から、電気の基礎排出係数の算出方法が変更となり、電力メニューごとに基礎排出係数が公表となったことから、調整後実績値の記載を割愛しています。